

## 【1 分解説】太陽フレアとは？

総合調査部 政策調査グループ 研究理事 重原正明

太陽フレアとは、電磁波等の放出により地球の電波伝搬等に影響をもたらす、太陽の表面の爆発のことです。

太陽の表面は様々な規模のフレアを起こして、電磁波・プラズマ等を放出しており、その一部が地球に届きます。太陽表面の活動は11年周期で活発化し、活発期には電磁波等も多く放出されます。低緯度でのオーロラ観測も太陽表面の活発化によるものです。

特に大きなフレアが発生すると、一時的に大量の電磁波等が地球に到達し、電波伝搬等に大きな影響を与えます。過去の事例では大規模停電、人工衛星の機能停止、飛行機が自分の位置を把握不能になる、などがありました。今日では携帯電話、キャッシュレス決済、カーナビ、交通・流通等への影響も懸念されます。

2025年が太陽活動の極大期と見られていましたが、米国海洋大気局(NOAA)によると少し早まり2024年の1月から10月が極大との予想が出ています。太陽フレアについては日本では情報通信研究機構(NICT)が宇宙天気予報を発表しています。

通信が生活に与える影響が大きい今日、太陽フレアの状況に注意するとともに、太陽活動リスクを事業継続計画(BCP)に組み込むことが重要と考えられます。